夕刊
磐城新聞
六月四日發行
定價 郵送料共 一ヶ月金五拾錢 郵送料共 五拾錢
廣告料 社告欄 一行一回 金拾錢 一行一月 金六拾錢 一行一年 金九拾錢
編輯兼發行人 磐城新聞社 平町字中町六番地 木村
印刷人 平町字中町六番地 磐城新聞社
發行所 磐城新聞社 平郵便局振替口座 仙台一〇九五番
（日曜祭日翌日休刊）

臺灣から

伊東一

四

ふのみ

四重溪は牡丹社牡丹灣に通づる街道にして人家二三十軒、温泉宿數軒あり、警察官派出所及蕃人の物品交替所あり、旅館の内部覗知するに聞なければさしたる風も非ず、やはり洲經營の公共浴場が心きゝたるなり湯は透明にして皮膚、胃腸婦人病に効ありと、此の街道の奥に石門と云ふ處あり明治七年西郷從道公牡丹蕃を討伐せられし古戰場あり

話は明治四年流球蕃民四十四名漂流して牡丹灣に着せしを蕃人の爲惨殺され、之を膺懲せんとて我軍を派遣されたるなり、當時車城附近龜山に上陸してこゝに攻め來たり多數を討つて引上げたり、車城より四重溪に來る途中斬殺されたる流球蕃民の墓石ありき

夏の裏通り

たけ男

キチキチキチキチ
三りん車
踏んでく可愛い
ヅボン吊り
〇
僕らが海へ

四重溪温泉

先に幽邃なる關子嶺の温泉を見た余は亦此の邊隈の四重溪温泉に憧れて來り訪ぬれば、之は亦豫期に反して凡なる處恒春より車城迄戻つて一里山道に入るも山委風容熟帶の風趣更になく、水清けれど是を風趣に取り入れず、山深からぬ山の里に僅に建てられた湯場の庭に樹木を植へて奥を添

磐城歌壇

新妻久滿夫選

青葉露子

○はつなつの清き朝明け野をゆけば、露のひかりのなつかしきかな
○井戸水の心地よきかなこの夕べ、袁蒙のぬめり洗ひをりけり
○はつなつの香りも高し漬け蕪の、今宵の卓に上るしたしさ
○競賣の騒ぎのなかに一株の、眞紅に狂ふ牡丹花かな

小評　第一、二、三首はあまりに表面的な歌であるが、作者はもつと自己の魂を奥深く突き入れて、内面的に或る一つのものをしつかり掴んでいただきたいと思ふ。第四首は前者に比べると稍々此の點に添ふてゐるところを認めるが今一段の習練を要する。第四句再考の要あると思ふ

隨意詠草の外左記題詠を募集す

一、露。蕍　一題二首以内

締切　六月六日

創作　雲後晴

柴田狂夢

一

アパート生活の實際味（愉快な氣分）は一度でも經驗したゞけで無いと一寸筆舌に盡し難い

種々なる階級の人々が集團して平和な生活を營む共同生活所アパート、常に其上で靜かに待つてゐます處には新鮮な快感と美しい人情が漂つて居ます、ですからアパートの雰圍氣は何時も長閑かな春の樣です

此處はお茶の水交詢社アパート三階の六號室、此の二三日前から君子は輕微な風邪で臥つて居た、彼女は自分の藥を求めに今しがた出て行つた寺尾をベットの上で靜かに待つてゐます

×

キユツ、キユツ、靴の音

寺尾が藥局から戻つてたのです

『イヤお待遠う』

『濟みませんでしたわ、おか使ひ立して』

『嫌だナー、他人行儀に、お禮なんか言つちや』

彼はそう云つて今買つて來た下熱劑を彼女に手渡した

君子は〇〇ダンスホールのダンサーで時々某婦人雜誌の美人欄に紹介される程の明朗なシャンだつた

同じアパートの屋根の下しかも壁一重の差で生活して行く寺尾と君子の二人だもの

彼等兩人の間には何時しか戀愛が構成されておりますす

『ネエー幾要司さん（寺尾の名）直るでせうか？、此の病氣』

『チエッ浪子の樣な事云つてら！其れボッチの風邪でる』

閉口たれる樣ぢや、健氣な日本の女性とは云えないョ君ちやん』

『でも妾……とつても苦しいんですもの』

『少し位は苦しいさ、病氣居るのです

君子の病氣は決して苦しい程の症狀じや無いんです

唯寺尾に慰められたい欲望から心にもないウソを云つて甘つたれてをるのです

部屋の内部は閉め切つたなつてはじめて感付いたと、血のめぐりの悪い娘さで十七日

湯本兒童旅行　湯本尋高校六年生約百七十名は昨三日午前五時二十分發列車で鹽釜仙臺方面に出發、松島に一泊、今四日午後九時二分着で歸校する

浪人長屋

講談

日岐武志作
月草道子畫

(104)

怪しい籠

小菊は、昨夜まんぢりともしなかつたので駕籠に搖られてゐるうちに、いつしか、とろりと、してゐた

ふと、氣がついた時は駕籠は冬枯れの峠路を走つてゐた

そして、駕籠屋がいつてゐた通り白いものがちらちらと、わびしく舞ひはじめてゐる

『あれッ』

と、おもはず小菊はおどろいた

後からついて來る筈の太七と馬が、いつの間にか居なくなつて、その代りに道中合羽の見知らぬ男が後から飛び下りてしまはうと、おもつたが後ろから

『おや、駕籠やさん』

小菊は、あわてゝ聲をかけた

『一寸、止めてくださいな』

駕籠屋は、聞ゐぬ振りをして返辭をしないばかりか一層脚を早めた

『下して下さいッ』

小菊は、不安さにあせつて叫んだ

しかし、駕籠屋はきこえぬ振りをして、どん〳〵大股に駈けてゐる

雪は、いよ〳〵降りしきる

路は、いつしか本街道から外れてゐるらしく、せまくなり冬枯れの林の中を走つて居るのだ

小菊は、いよ〳〵、たゞ

ついてくる怪しげな合羽の男に氣がつくと、今は、はたと當惑した

——いつたい、太七は、どうしたんでせう……さつきまでたしかに後から來た筈だのに、あたしがうつかり、うと〳〵としてゐる間に、いづれへか……

『ね、娘さん』

前棒の駕籠屋が、走りながら、はじめて、口をきつた

『酒手にありつくにや、ちッたあ荒い仕事をしなけりゃね、なあ相棒ッ』

『さうよ、へ、へ、へ』

後ろの奴が、いやしく笑つた

『地道に、かご屋渡世が出來る途中斬殺されたる流球

『地道に、かご屋渡世が出

『ふん』

と、おぞわらつた後棒

『いよ〳〵、血のめぐりの悪い娘ッ子さ』

『わからなけりや、きかしてやらあ……』

と、今度は前棒

『これから、山の小屋でお前たちの酒の相手に……』

と、いひかけた時後棒が

『しッ』

と、制した

かごから少しおくれてじまつた、例の合羽の男……

一平が漸く追ひついて

『待てッ』

と、後ろから叫んでゐた

口腔優良兒童表彰

平町各小學校では今四日の齲齒豫防デーに際し最の檢査に於て優秀な成績だつた左記に對し賞品を授與した

（第一）一年—伊藤晃男、渡邊眞一、大久保信夫、二年—矢口忠次、三年—渡邊勝也、增淵喜市、五年—清野兵一、豊口正勝、門馬政衛、六年—小林博、椎名俊、高一—小谷磐夫、松崎富夫、會川忠弘、高二—高荻市郎、蛭田秀男、阿部保三、鈴木喜一、池津厚、佐川孝一

（第二）一年—柴田佳代子、吉田静子、前島ヒサ子、二年—木村ヒデ子、猪狩ミツ、金澤キヨ、三年—二階堂ヒデ子、四年—飛田充子、椎名喜代子、五年—石井ヨシ、島田末子、穂積ハナ、堀越秀子、目黒フヨ、根岸とき子、村山よし子、六年—佐藤惠美子、眞田フミ、藥谷カツエ、三瓶キイ、高一—草野美代子、磯貝トヨ、佐藤みよ子、佐藤アサ、柴田ケイ子、水原ユキ、赤坂和子、大久保英子、藤田秀子、高二—高岡キセ、武田龍子、木下八子、格和京子

平署古河劔道延期　來る十日行ふ筈であつたが都合で十七日

湯本兒童旅行　湯本尋高校六年生約百七十名は昨三日午前五時二十分發列車で鹽釜仙臺方面に出發、松島に一泊、今四日午後九時二分着で歸校する

湯本戶數割町會　湯本町九年度戶數割賦課額決定町會は今四日より三日間招集すると

町村長支會總會　來る九日午前十時から平町役場會議室で開き評議員改選其他を協議すると

社會の今日

〇

六月のふくよかな乳房をふつくりと、セルにつつんだにぶい陽の色

上田穩

短夜の木々ねむたさや
靄の中

井泉水

行く時の帽子冠つた小母さんが

〇

リヤカー押して
遣つて來た
アイスクリーム
買ひ度いな

5月6日

△源義經腰越狀を認む（元暦元）△春秋二季の皇靈を定められる（明治一一）△帝國在鄕軍人大會を奉天に開く（昭和七）

▲一白の人　無欲骨の多き日見込なき事に執着せぬが吉▲二黑の人　小事にも辛勞を惜まゝとす守勝休養が吉し▲三碧の人　目上の反感を除ひ萬事手遊ひを生じ易き日▲四綠の人　たわまざる努力も意の如く進み得ざる不安日▲五黄の人　平野を辿るが如し足は樂なれと進ひ易し▲六白の人　大事成らんとして些細の油斷にて破れあり▲七赤の人　物事順調に進むも安心に過ぎ逆戻りする日▲八白の人　突進念功を望むは自らぼ穴を掘るに異らず▲九紫の人　稀有の旺運にて百事進んで望成らざるなし

五日

日出　四、二六　月出前　〇、〇二
日没　六、五三　月没後　〇、〇九
滿潮　前一一、〇五　干潮　前五、一一
後　——　後五、一五

諸判定廳務
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神靈教

舊四月廿四日
火曜
丁未
六
先負
月
滿
五
日
新
十二月
四
日
尾宿

五月武者人形大賣出し
例年通り特選の武者人形を始め古代人形各種、御座敷幟、布鯉、其他御道具類一式
豊富に取揃へ陳列特賣致します。
是非御來店の程御待ち致します。
平町本町通り三町目
落花生問屋　叶・加藤商店

五月人形賣出し
尚武日本を表象して若葉の空を泳ぐ鯉幟、武者人形も勇ましく陳列いたしました、是非御覽下さいます樣御願いたします
其他特製、御座敷幟、御陳道具、御太刀類豊富に取揃特價に御願致します
平町三丁目
金太郎玩具店

——二丁目フクダヤの——
五月人形鯉のぼり
大賣出し
かしこくも皇太子殿下と節句を同じうする光榮此の上なき御子樣を祝福しておなじみのフクダヤは奉仕的大勉强いたします。
武者人形　八十錢より
鯉のぼり　壹圓五十錢より
具足飾　貳圓五十錢より
御座敷飾セット　六圓より百五十圓迄

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町目町（電話三〇八番）
藤田女學校前

『入院のお需めに應ず』
齒科　口腔外科
日本齒科醫學士　鈴木喜政
內郷村高坂　磐炭病院前
鈴木醫院

平ゆべし　一折金十錢
高粱餅（タカラモチ）　一折金十錢
（日滿提携新菓）
賣始めました。
田町日進堂
電一八六

夏の通學服　1日ヨリ
小學用霜降小倉服……40ヨリ
同上口……85ヨリ
同特製……1,20ヨリ
中學用同……2,05ヨリ
第二第三制服も二三日中に揃ひます。
ふかや洋服店　平三電205

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋　和洋銅物
釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番　九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番

氣管、食道科、耳鼻、咽喉科、專門
平町南町（元眞木辯護士跡）
增田耳鼻咽喉科醫院
電話四八二番
（入院隨意）

確實敏捷は〇の生命なり

お醬油は……ヤマフル
味噌醬油　たひら正宗　經節食料品
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町
電話（營業部一〇番　本店二七番）
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

內臟外科
外科一般
花柳病科
入院隨意　自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）
安齊外科醫院

月曜論壇

新なる大平町民

隣接五ケ村十九大字を合併して一躍人口三萬五千の近代都市を形成せんとする平町の都市計劃は既に關係地域の測量を開始し着々として本格的準備が進められつつある、由來之等の諸部落と平町との相關々係は單に行政區劃上の他人たりしに止まり生活資源の關係を始め其の內容に於て平町とは所謂同身一体の有機的存在であつた、即ち行成區劃を異にする爲に生ずる幾多の不便欠缺より遁るべく之が合併は寧ろ夙に實現さるべきであつたのを其間に横たはる固陋な傳統の羈絆より脱し難く今日に至たものであつて而も前記範圍の居住者は略ね平町に生業關係を有し兒童の通學、上水道の供給等急速合併を有利とする狀態に置かれて在る以上、今や關係各部落は自域への立入りに關する諒解が什うの慶うのと云ふ如き他人行儀に出でず、苟も之が調査資料の蒐集に就ては共に之を促進するの態度に出でなければならない、而して近き將來に於て從來の平町を中心に半徑一里を增大され總有る施設計劃に於て間然する處なき新興躍進の地方都市が建設さる時に於て親愛なる各關係部落民が新らしき大平町民として相偕に朗かな行進を續けて行かう事は、蓋し想ふだに愉快の極みではないか、而も村民ひとしく百倍々隆興發展して山河依然、近代都市の明朗なる新文化に惠まれ乍ら青苔滑かなる祖先の墳墓に、蒼鬱として千古の神秘を籠むる產土の杜に其間何等の變革を來さざるを、奚んぞ因襲の舊殼に蟄居して地上の一記號に過ぎざる傳來の村名に眷戀たるものぞ。健康なるオゾンに富んだ新文化の空氣を呼吸し乍らより良き富を培はんとする肥沃の曠野はいま新に大平町民たらんとする一人一人の前に展開されてゐる、茲に輝かしい明日を約束されてある合併部落民の前途を祝福して措かぬ、

往古の文化を秘むる 高月から珍土石器發見

磐中の小考古學者酒井英世君が新に獲た研究資料數種

磐中教諭酒井英吉氏長男磐中四年生英世君は曩に磐女校前杉平台地から土器木灰を發見、それにより城山が往古平地で先住民族が住み後夏井川がその上部を流れ更に現今の如き地形を形造つた等興味ある考證をそゝつたが再復去る三十一日高月臺上磐中校庭の一隅から完全な高杯一個（徑六寸七分、高さ五寸）その不完全なもの四個、完全な小高杯一個（徑二寸八分、高さ三寸七分）鉢狀り一週間就勞希望者の登錄の土器一個（徑七寸、高さ三寸七分）火發石器（約二十個の火發の凹みを兩面に有つ長さ一尺一寸、横五寸七分の石塊）その他土器破片多數を發見した、この高月臺及び公園附近の藥王寺臺等には嘗て勾玉、土器等が發見され『日本石器時代地名表』にも採錄されて居り、今回の發見は從來至難と云はれた石城古代文化、延いては乃至高月文化の全貌を闡明する前提と見るべきで、右に就き磐女山口教諭は語る

火發石器等と果して同時代であるかは明らかではない。今度の高杯の大小形狀等嘗て常陸の眞壁町で發見されたものとよく似てゐる。これだけ揃へば今後專門家の鑑定を仰ぐ必要があらうから近日東京帝大人類學教室の八幡一郎氏に相談する考へである。云々

其後引續き城山で熱心に採集を續けてゐた英世君が今回更にそうした稀に見るものを數多く發見した事は平町古代文化の研究上誠に慶賀に堪へない

夏井川改修工事就勞希望多數

明六日から登錄開始

平職業紹介所では既報の如く夏井川改修工事が最盛季に入るので愈々明後六日より各平青年團に於て約二千名の人夫を使役するので豫約して居ると

△職業紹介所では昨今の日給四七錢位で然も永續性の乏しい仕事を抛ち男六十五錢女、少年が四十錢內外と云ふ強烈な比較的割良い之に赴かんとするもの多く何れも大喜

石城教育部會總集會

出席千五百餘名 昨日盛況裡に了る

石城教育部會春季總集會は昨三日午前十時から平第一校講堂に會員その他關係者約千五百名參集開催、役員改選には

（會長）篠山廉（副）津田逵造、西山直三郎（縣代議員）篠山廉（東部聯合會同）安藤力、渡邊義雄作山一枝、鈴木龜之助、赤津欣之助

を決定、既報二十五年在職四名、五ケ年無缺勤十六名の功勞者を表彰、六訓導の研究發表あり、推名龍德氏の『兒童保護の諸問題』と題する講演あり、尙ほ東郷元帥の薨去に對し篠山會長の名で左の弔電を發した

本會は總會の決議により元帥閣下の薨去を悼み謹んで哀悼の意を表す

八間半の大鯉幟

片寄氏の壯擧

平町五丁目片寄小彌太氏は皇太子殿下の御誕生を記念し長男の初節句に揚ぐる長さ八間半の大鯉幟を東京に特別誂して舊節句を前に控へ一昨二日から十四間の竿の上に掲げたが郡下一を誇つた平第一校のそれを凌駕すること一間半、偉大な姿を晴空に躍らせてゐる

薫風に熱球は戛飛ぶ

各地野球戰況一束

遠征磐中軍 水戸に敗る 磐中野球部では縣下大會の小手調として昨三日樋口部長引率の下に水戸へ遠征水商球場に於て午前十一時より水商と、午後三時より茨工と對戰、スコアは

磐	0	0	1	2	0	4	0	0	0	7
水	1	0	2	0	0	3	1	0	1	8
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	

磐中では冒頭第二投手高羽をプレートに送つたが初陣にもかゝはらず緩いシュート用ひいて好投水商打撃陣を完封して居たが六回に乱れ石川に交替せしめた、石川また練習不足のためコントロールなく剩へ雨のために失策多く遂ゝ惜敗した

對茨工 石川主戰投手をプレートに送り善戰これつとめたがグラウンドコンディション非常に悪く復々失策續出遂に左のスコアで慘敗した

磐	0	0	1	2	0	0	4	0	0	7
茨	0	0	2	0	0	2	2	0	1	7
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	

對水商

磐	0	0	1	2	0	0	4	0	0	7
水	1	0	2	0	0	3	1	0	1	8
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	

對茨商 磐中野球部では昨三日樋口部長引率の下に茨城へ遠征茨商球場に於て午前十一時より茨商と、午後三時より茨工と對戰、スコアは

磐	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
茨	0	0	2	0	0	2	2	0	1	7
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	

同校では語る

雨のためと遠征の弱味に若手揃ひのため失策多く敗戰の苦杯は嘗めたが水商との試合は當然勝ち得たものである。茨工は今年南關東の優勝候補と目されて居る丈けに流石强い、實力の差です、然し全くよく戰ひました

餘り獲れ過ぎて 大漁不景氣乎？

縣下昨今の鰹況

磐城丸から幾度か大漁の報に接し且つ他縣廻船の入船から最近毎日一萬貫以上を水揚げしてゐる小名濱港では鰹景氣滿喫の躰ではあるが豐漁に伴ふ安値で昨年の六、七割に比し昨今は四割程度である、これは今年は大型漁船が海上で大規模井川、平商駒場の兩教官は大漁後の豊漁豫想から近來稀な安價を招徠し一方濱方部では不景氣に襲はれるではないかと懸念してゐる程である

配屬將校出廻 磐中大の六、七割に比し昨今は四割程度である、これは今年は大型漁船が海上で大規模井川、平商駒場の兩教官は に節製造を始めたのと亀節來る二十五、六の兩日縣男の東京市價が二十五割の安子師範校に於て開催さるる値で地方節製造業者が生產縣下中等學校配屬將校打合を手控へしてゐるためで今會議に出席すると

窃盜は減つたが 總件數は四割增

平署去月中の檢擧統計

平署管內に於ける去月中の檢擧件數は稀代の詐欺女荒川セツの關係から二百二十九件二十名の詐欺を筆頭に窃盜三二名一五三件、横領三名一五件、業務上横領二名八件、賭博一九名六件

其他總數一一三名四百四十五件、送致八十二件、この金額四千三百三十四圓五錢の巨額に上り昨年同期に比し窃盜は減じたが總体に於て約四割强の激增を示して居ると

銀行臨時休業

明五日

故郷元帥國葬に際し縣下銀行は臨時休業すると

貧困者救濟に 花柳門下慈善舞踊大會

中央諸大家助演の下に 十六、七日聚樂館で開催

地方の舞踊界に一新紀元を劃した花柳德三郎舞踊會主催の貧困者救濟慈善舞踊大會は來十六日の舊端午節句から翌十七日の日曜にかけ兩日とも午後四時より聚樂館に於て開催するが番組左の如く當日は東都より花柳德兵衛師及望月左七社中（鳴物）五名の助演ある外門の專門家十名が乘り込むと云ふ地方空前の大掛りな會費は五十錢、八十錢の二種であると

十六日—舌出し三番叟（三番花柳德三郎、千歳花柳德兵衛）小鍛治（唄と三味）松乃綠（小齊ヨネ子）菊づくし（關內外八人）羽根の禿（安齊テル子、藤田テル子）四季の山姥（唄と三味）以上十七日も同じ 越後獅子（關內マス子）菖蒲浴衣（菊枝友子、まり子）道行旅路の花聟（伴內光惠、勘平ひな丸、おかるてまり）供奴（すゞ子）賤機帶（女狂桃子、長船貞丸）橋辯慶（濱壽、君枝）道成寺（小里）連獅子（花柳德三郎、花柳德兵衛）老松（花柳德三郎）

十七日—藤娘（三井マサ子）近江のお兼（その榮）淺妻色（ぼたん、千代丸）俄獅子（貞奴、豆千代）汐乃（小櫻、榮）五郎時宗（金太郎）浦島（百助）鞍馬山（お染）連獅子（花柳德三郎、花柳德兵衛）老松（花柳德三郎）

注射で盜み度くなる

平署が檢擧取調べ中の 厄介なモヒ中毒女

入山惜敗 入山野球部では昨三日遠來の日立温交會（第二軍）を迎へ自社球場に於て午後一時から鯨岡（球）松江、鈴木（壘）審判で開戰、先攻の日立軍勞頭一擧三點を先取し今四日午前二時頃湯本町地內を徘徊する擧動不審の女あるを平署員が聽調べると女は宮城縣刈田郡村田町生れ小原ヒサ（二九）と云ふ强烈なモヒ中毒者で地方の病院藥が稀薄になると大聲を出して注射すると直に性來の盜癖が發作し昨三日は午後二時頃湯本町三函洋品店若松屋旅館に於て開催、出席四十餘名盛會であつたと

坂本大網豊漁 四倉町坂本大網今日迄の漁獲高は三萬五千餘圓に上り今期中十萬圓の漁獲を豫想されて居る

たが以後入山軍追擊物凄く先攻で開始、十八對九で磐炭敗る

役場一勝一敗 一昨二日平鐵と第三校庭に對戰九A對八で捷ち、昨三日は第一校庭で在平印刷業組合と對し十八對四で敗れた

平商職員夜營 平商職員一同は來る九、十の兩日新舞子に於て野營演習を行ひ非常時の精神涵養に努める

磐炭對鐵 磐炭鐵は昨三日午後一時から內郷金坂グラウンドで鐵を先攻で開始、十八對九で磐炭敗る

役場一勝一敗 一昨二日平鐵と第三校庭に對戰九A對八で捷ち、昨三日は第一校庭で在平印刷業組合と對し十八對四で敗れた

平商職員夜營 平商職員一同は來る九、十の兩日新舞子に於て野營演習を行ひ非常時の精神涵養に努める

窃取 內郷村大字容宇金坂五六炭鑛雜夫佐藤久（三三）は去月中旬頃綴製作所より古眞鍮機械附屬品一貫目（價格二圓五十錢）を窃取し萬五千餘圓に上り今期中十清五郎に八十錢で賣却した事發覺、昨三日平署に檢擧高島も臟物故買で取調べを受けた

迷子 昨三日午後六時頃四倉町公園附近を親の名を呼びながら泣き歩いて居る迷子あるを通行人の發見により四倉署で取調べたが利滿（七）だけで判明せず內郷村內町小學校附近のものらしく今四日平署から駐在巡査に取調べ方を照會した

平產看學校合格者

合格率產九割看八割

合格率產九割看八割此程執行された本縣及宮城兩縣の產婆、看護婦試驗に合格したる平町南町平產婆看護婦學校出身者次の如く合格率は看護婦科八割、產婆科九割の好成績であつた

△看護婦科—松崎ヨシ、門馬サツエ、北郷美代、相川マスエ、雫石明、岡田美智、猪狩チヨ、阿部コト鹽原ヤイ、佐々木ミヤ、小野マス子、五十嵐トキ吉田サダ、遠藤セキエ、大友ヤス、武川德子、小野關江、西牧きよう、鈴木ツヤ、鈴木ゲン、船尾トキ、飼ナカ子、平崎艶子、齊藤マツイ、石井ヒ子、齊藤マツイ、石井ヒ子、西村はる、鈴木イサ、澁井シゲ、高木ミイ、遠藤隆子、宗像タカ、佐藤房子、沼田ハル子、大友ヨシ、小貫チヨ、加藤木ミツイ、北郷タケ、小松タツ、田中くめ、山下靜枝、小林キミ子

△產婆科—坂本靜衛、岡田美智、雫石明、阿部コト相川マスエ、猪狩チヨ、北郷美代、山野邊猛、山下靜枝、小林キミ子、宗像タカ、大木ミメ子、船尾トキ、齊藤マツイ、鈴木ゲン、鹽原ヤイ、新妻富美、星亀代、草野鐵、片寄正子、吉田サダ、大田原シマ、鵜沼ミサヲ

理結髮試驗合格者

過般執行された理髮檢定試驗に平署管內の受驗者四十九名中理髮二十四名、結髮八名、合計三十二名が合格中平町の分左の如く理髮に於ては一名落ちの十名結髮はその全部を占め八名と云ふ縣下一の好成績を收めた

（理髮）鍛治町薗部義雄（加藤方）田町同清三（石崎）四丁目佐藤末吉（高木）柳町富永キヨ（淺田）白銀町中尾照（鈴木）佐浦長吉（柏木）新川町坂本義一（三富）四丁目林卯之助（小林）月見町大河原武雄（伊藤）

（結髮）二丁目佐藤トメノ（今井）白銀町木村かつ子（同）渡邊ミサ、宗形フュ長谷川キヨミ、大槻ユキイ（木野）田町薫田マス（吉田）同吉澤アイ（平塚）

部長試驗合格 此程執行した本縣巡査部長採用第一次試驗に合格した本郡關係者左の如し

（平）五十嵐健便、桑原正雄、菅家德壽、佐藤雅之助（四倉）菅原壽雄、遠藤豐、佐藤寅一

四倉通信

新妻町長渡滿 四倉町長新妻盛氏及昆布製造業本田辰吉氏は明五日滿洲視察のため出發すると

新助役披露宴 四倉町助役官波千之助氏の就任披露會は昨三日午後六時より柏屋旅館に於て開催、出席四十餘名盛會であつたと

坂本大網豊漁 四倉町坂本大網今日迄の漁獲高は三萬五千餘圓に上り今期中十萬圓の漁獲を豫想されて居る

喧嘩 双葉郡浪江町大字權現堂字新町五一無職渡部隆綱（三三）同農門馬小齊治（二四）の兩名は去月十三日同字下續町カフエー松竹で同字下川原八農八島文義（三三）と喧嘩をなし隆綱は有合せた小皿を投付け文義の上口唇に全治十日間の切傷を與へ尙ほ小齊治は其筋の許可なき日本刀を前記文義の入院先に携帶し力廉で此程平區より略式罰金隆綱は廿圓小齊治は十圓に處された

窃取 內郷村大字容宇金坂五六炭鑛雜夫佐藤久（三三）は去月中旬頃綴製作所より古眞鍮機械附屬品一貫目（價格二圓五十錢）を窃取し萬五千餘圓に上り今期中十清五郎に八十錢で賣却した事發覺、昨三日平署に檢擧高島も臟物故買で取調べを受けた

◎電話新設 五四五番!!!
御寫眞は最近著しい進歩いたしました。
『最新の採光と自然の御姿勢を』
常に尊重して御寫じ申上たいと存じます。
尙ほ出張撮影御急ぎの場合は是非
電話五四五番へ御願いたします。
平町仲田町 大野寫眞館 電話五四五番

開業 內科一般 川井安子
川井內科診療所
平町南町六五（舊居）
電話二四三番

吸入用酸素 純度99%
度量衡 マサノサシ ハカリ ス
醫療器 体温器 寒暖計
◎科ノ取 糸・垂・修・緒 致シ 復ス
開內藥局 電話四〇番

內臟外科一般（入院隨意）
外科花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院 電話三〇九